
令和 7 年度北栄町高校生議会会議録

令和 8 年 1 月 26 日（月曜日）

議事日程

令和 8 年 1 月 26 日 午前 9 時 26 分開会

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 諸般の報告

日程第 4 一般質問

出席議員（12 名）

1 番 徳 山 天君	2 番 橋 本 大 翼君	3 番 松 原 匠 汰君
4 番 塩 涼 太 郎君	5 番 濱 本 月 華君	6 番 長 田 光君
7 番 伊 藤 魁 仁君	8 番 西 村 李 世君	9 番 越 野 陽 仁君
10 番 野 廣 優 妃君	11 番 日 原 快君	12 番 福 光 蒼 里君

議長（1 名）

議 長 橋 本 佳 樹君

北栄町議会事務局出席職員職氏名

事務局長	手 嶋 寿 征君	主事	宇 山 美 久君
事務補佐員	長 谷 川 利 恵君		

説明のため出席した者の職氏名

町長	手 嶋 俊 樹君	副町長	岡 本 圭 司君
教育長	笠 見 隆 志君	総務課長	小 澤 靖君
企画財政課長	中 野 智 子君	福祉課長	鹿 島 聖 彦君
産業振興課長	清 水 直 樹君	観光交流課長	永 田 裕 一君
環境エネルギー課長	岩 本 雅 志君	教育総務課長	松 本 裕 実君
生涯学習課長	渡 辺 健 二君		

午前 9 時 20 分 高校生議会開会式

○事務局長（手嶋 寿征君） 時間になりましたので、高校生議会の開会式を行います。

初めに、北栄町議会議長 前田栄治が御挨拶いたします。

北栄町議会議長あいさつ

○町議会議長（前田 栄治君） 皆さんおはようございます。令和7年度北栄町高校生議会開会に当たって、一言御挨拶を申し上げます。この高校生議会は、北栄町にとって、若い皆さんの意見を取り入れる大事な機会となっています。去年は、砂丘まつりで大声コンテストが開催されたり、過去は、図書館の自由空間スペース(ギャラリー)ゆらりや街灯の設置など、たくさんの提案が反映され予算化されてきました。高校生の皆さんは、地域探究の時間などで地域の調査・研究をしてこられました。今日はその成果を、緊張するかもしれませんが、過去、全く緊張しませんでしたというような猛者もいましたけども、質問の時間は完全に自分の時間ですので、ゆっくり、また大きな声で、そして十分に町長、教育長に思いを提案していただきたいと思います。今日が、高校生議員にとって、また北栄町にとって有意義な1日になることを御祈念申し上げ、開会の挨拶といたします。高校生議員の皆さん、頑張ってください。

○事務局長（手嶋 寿征君） 続きまして、北栄町長 手嶋俊樹が御挨拶いたします。

北栄町長あいさつ

○町長（手嶋 俊樹君） 皆さん、おはようございます。議長がすばらしい挨拶をされたので、私のほうは割愛させていただきたいと思います。本当に、いつも若い高校生からいろんな御意見をいただいて町政に反映させていただいています。この経験を、これから人生にいろいろと生かしていただきたいなと思います。選ばれた12名(議長含め13名)の方であります。なかなか経験できることではありませんので、今日は十分ディスカッションしたいと思います。どうぞ、お手柔らかによろしくお願いいたします。

○事務局長（手嶋 寿征君） 最後に、鳥取中央育英高等学校 山田史子校長に御挨拶をお願いいたします。

鳥取中央育英高等学校長あいさつ

○校長（山田 史子君） おはようございます。今日は本当にこのような貴重なお時間をいただきまして、北栄町の皆様には心より本当に感謝を申し上げます。ありがとうございます。本校は地域探究を平成26年からやっているんですけども、この高校生議会はそれに先だって、もう10年以上にもわたって開催していただいております。地域探究と高校生議会の動きを絡めて、連携させていこうということでここ何年か工夫をしているところでございまして、今日も地域探究での学びをもって、北栄町のほうにまた御提言させていただくというような形をとらせていただいています。このように生徒たちがまとめ上げることができたのも、北栄町様の様々な御支援があったおかげだと思っております。我々としては、また様々な形で町に御恩返しをしていきたいと思っております。ボランティア等を通じていろいろなことができればと思っておりますけれども、本日はひとまず、お手柔らかにいきたいと思いますので、疑問やら思いやらを提言すると思っておりますので、どうぞ聞いてやってくださいませ。よろしくお願いいたします。

○事務局長（手嶋 寿征君） 以上で、開会式を終わります。

○事務局長（手嶋 寿征君） それでは、これより高校生議会の本会議を始めます。

北栄町議会議長による、高校生議長の指名

○町議会議長（前田 栄治君） それでは高校生議会の開会に当たり、議長として、橋本佳樹議員を指名します。

午前 9 時 26 分開会

○議長（橋本 佳樹君） ただいま議長の指名を受けました、鳥取中央育英高等学校 2 年の橋本佳樹です。鳥取中央育英高等学校と北栄町にとって有意義な高校生議会となりますよう、皆さんの御協力をよろしくお願いします。

それでは会議を始めます。ただいまの出席議員は 13 名です。定足数に達していますので、これより令和 7 年度北栄町高校生議会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりです。

日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（橋本 佳樹君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。高校生議会の会議録署名議員は、議長において、1 番、徳山天議員、2 番、橋本大翼議員を指名します。

日程第 2 会期の決定

○議長（橋本 佳樹君） 日程第 2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。高校生議会の会期は、本日 1 日としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔 「異議なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（橋本 佳樹君） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日 1 日と決定しました。

日程第 3 諸般の報告

○議長（橋本 佳樹君） 日程第 3、諸般の報告をします。

本会議の出席者は、お手元に配布した資料のとおりです。

日程第 4 一般質問

○議長（橋本 佳樹君） 日程第 4、一般質問を行います。

届出順により順次質問を許します。

1 番、徳山天議員。

○議員（1 番 徳山 天君） 1 番、徳山天です。僕は、北栄町と名探偵コナンの町について、町長にお聞きします。

北栄砂丘まつりといっても砂丘の魅力が不十分だと感じています。そこで、砂の町として砂場をアピールしてはどうでしょうか。具体的には、新青山剛昌ふるさと館の芝生広場の一角に大きな砂場を造り、砂遊びができるエリアを造ってみてはどうでしょうか。イベントとしてビーチバレーボールコートも張れるようにし、子どもから大人まで楽しめる場所として、また町の新しいレジャースポットとして、多くの人を呼び込むことができると思います。大きな砂場の設置で、鳥取砂丘まで行かなくても北栄町で「砂丘と名探偵コナンの町」または「サンドスポーツの聖地」となる場所をつくることを提案します。

これで、壇上での質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 徳山議員の、砂丘と名探偵コナンの町への御質問にお答えします。

この計画の芝生広場では、各種イベントを行う場所として想定していますので、議員提案のイベントを行うこと自体は検討できると思います。ただ、この広場は来館者や地元住民が無料で利用できる憩いの場として遊具などとともに整備する計画がありますので、常設で砂場を設けることはできません。また、多くの来館者が予想される新しいふるさと館の敷地内で、大型の車両や重機を入れる労力や経費をかけてまで準備することを考えると、実現させるのは相当に難しいものだと考えます。他の場所を活用してビーチバレーコートを設営されるのであれば、御相談に応じることもできますので、他の候補地も御検討いただければと思います。

なお、北栄町では、ナガイモやブドウ、ラッキョウなど、砂丘地でたくさんの農産物が栽培されています。いわゆる砂丘地農業が盛んなことは、既に御承知のことと思います。今後も砂丘まつりなどのイベントにおいて、北栄町の砂丘地の魅力をアピールすることに取り組んでいきたいと思っています。

○議長（橋本 佳樹君） 徳山議員。

○議員（1 番 徳山 天君） 答弁していただいたことについて再質問します。

新青山剛昌ふるさと館の一角に、狭くてもいいので、砂とふれあえる場所やコナンの砂像などはどうでしょうか。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 先ほど壇上でも答弁させていただきましたが、なかなか砂場ということになると、多分常設になると思いますので少し検討が必要かなとは思っています。今、砂像ということを言われたと思いますけど、なかなかいい提案だと思います。今現在、鳥取砂丘のほうで砂の美術館、とっても人気の砂像もありますので、その砂像がコナンとか、多分コナンのオブジェだと思いますけど、それに許可が得られるかどうか、それから考えていきたいと思っています。

○議長（橋本 佳樹君） 徳山議員。

○議員（1 番 徳山 天君） これで質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 以上で、徳山議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（橋本 佳樹君） 2番、橋本大翼議員。

○議員（2番 橋本 大翼君） 2番、橋本大翼です。僕は、観光案内と移動手段、コナン通りに人力車を設置することについて、町長に質問します。

北栄町の観光スポットはまだまだ点在していて、雨でも雪でも夏の暑い日でも、徒歩で荷物を持って移動するのが基本です。タクシーや自転車の貸し出し、セグウェイなどのレンタルもありますが、利用はいま一つ伸びていないように思います。

そこで、コナン通りの観光案内をしながら、より便利に移動できる人力車を稼働させてみてはいかがでしょうか。運転するのは育英寮生です。トレーニングの一貫にもなります。人力車を設置することによって観光客との交流ができ、北栄町の魅力を発信することによって北栄町にまた来たいと思ってくれる人が増えると考えていますがいかがでしょうか。

これで、壇上での質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 橋本議員の、観光案内と移動手段についての御質問にお答えします。

人力車という手段の御提案、育英高校の寮生がトレーニングとして運行するというのですが、なかなか面白い、興味深いアイデアだと思います。実現について、少し課題等を整理させていただきたいと思います。この人力車というアイデアを実現するためには、人力車を稼働させる日にちがまずあると思います。具体的には、土日祝祭日や夏休み、ゴールデンウィークなど、観光客が多い日に需要が高いと見込まれると思います。これらの観光客が多い日に、部活動の試合や遠征などが多く組まれる育英高校の寮生のスケジュールを確保できるのか、こういうことも少し課題があるのかなとは思っております。

また、もし料金を請け負って人力車を運行するのであれば、民間事業者が運行を担うことになると思います。その場合、いろいろな手続きが必要となります。警察署への道路使用許可であるとか、場合によっては道路管理者への道路を占用する許可が必要となります。人力車は、道路交通法上では自転車などと同じ軽車両として扱われます。自動車運転免許は必要ではありませんが、交通ルールを守りながら安全な運行が求められます。同時に、地元の観光スポットを的確に説明できるだけの知識や接客技術も必要であります。万が一の事故に備えての損害保険の加入も必要不可欠であります。

御指摘のコナン通りを周遊される観光客の動向を観察しますと、通り沿いに点在するオブジェやモニュメントなど、名探偵コナンのキャラクターを見つけるたびに、スマホやカメラを構えて写真を撮る方が大半を占めています。仮に人力車で移動するとなると、オブジェごと、モニュメントごとに車を止めて降りてもらうことを繰り返すことになり、かえって不便になるかもしれません。例えば、京都のような一大観光地では既に人力車が移動手段として稼働していますが、運転や接客などの研修を十分に積まれた方が、プロの車夫として運転されているのが実態です。このことから、仮に寮生の方が運転されるとしても、部活動で培った筋力やあるいは体力だけではなく様々な研修を事前に十分に受けることが必要となります。そして、観光客の多い土日祝祭日や長期休みを、切れ間なく運転しなければ事業としてなかなか成り立たないと思います。寮生の方が人力車を運転するとい

うことは、なかなか難しいかなと思っているところでございます。

○議長（橋本 佳樹君） 橋本議員。

○議員（2 番 橋本 大翼君） 答弁していただいたことについて再質問します。

育英寮生がやるのは、やっぱり観光知識や外国語の勉強などをしなければならないという事で難しいことが分かったので、それならば、全国的に人を募集してやってみるのはいかがでしょうか。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） またこれも、なかなかいい提案をいただいたところではございますが、先ほども少しお話をさせていただきましたが、人力車というのがこのコナン通りに似つかわしいといえますか、というのをまずちょっと考えなくてはならないかなと。やはり何回も降りたりするというのも手間もかかりますし。できる方法というのも少しあるかなと思います。京都とか、ああいうところとはまた違うかもしれませんが、似たようなところでもしそういう人力車等々があれば、そういうところに行って少し研究させていただきたいと思います。

○議長（橋本 佳樹君） 橋本議員。

○議員（2 番 橋本 大翼君） 以上で質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 以上で、橋本議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（橋本 佳樹君） 3 番、松原匠汰議員。

○議員（3 番 松原 匠汰君） 3 番、松原匠汰です。僕は、青山剛昌ふるさと館跡地を温泉施設へについて、町長に質問します。

今の北栄町に唯一ないものと言えは温泉です。そこで、青山剛昌ふるさと館跡地を有効活用する意味でも、温泉とサウナの設置を提案させていただきます。

北栄町には近年、外国人観光客や全国からの観光客が来訪します。夏は汗だく、冬は凍える体。そこで、温泉があることで少しでも長い時間北栄町に滞在していただき、好印象で町を出発していただけます。また、サウナでは、コナンの映画などを放映することでコナンファンや初めてコナンを見る方も楽しめて、コナンを知るきっかけになると思います。観光客だけではなく北栄町民も温泉を利用します。北栄町には高齢者が多く、温泉や爆発的人気のサウナができることで、外出する機会や生活の楽しみが増え町の活性化につながります。このように、コナンのPR、町の活性化、観光業の促進に役立てられるのではないかと考えますが、御検討いただけないでしょうか。

以上で、壇上での質問は終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 松原議員の、青山剛昌ふるさと館跡地に温泉施設をとということについての御質問にお答えします。

私も温泉・サウナは大好きであります。以前、北栄町にも温泉がありました。最初は少し珍しくてたくさんの方が来られたかもしれませんが、なかなか運営等が難しいということで廃業されたという経過もあります。この御提案の件については少し難しいところ、課

題になっているところを先にお話をさせていただきたいと思います。

まず、この青山剛昌ふるさと館ですが、正式な名称は大栄歴史文化学習館という施設で、約 30 年前に国の補助金により整備されております。この補助金を活用した施設の目的は、農業や地域文化資源の保存と展示です。現在は、地域文化資源の保存と展示の一環として、本町出身の青山剛昌先生の作品を扱っているところで、青山剛昌ふるさと館という施設の名前は、条例に定めた呼称、呼び名であることをお伝えしておきます。

温泉やサウナは大変魅力的な資源であります。ただ、温泉を掘削するためには莫大な費用と、その後の温泉・サウナ施設を運営することも想定しなければなりません。しかも、農業や地域文化資源の保存や展示という、施設の目的には合わないものですので、現在の青山先生の作品などを展示する青山剛昌ふるさと館が終了した後に、温泉やサウナを設置することは、かなりハードルが高いなと思っているところでございます。

○議長（橋本 佳樹君） 松原議員。

○議員（3 番 松原 匠汰君） 町長の答弁から再質問させていただきます。

道の駅大栄の移転を考えているという意見をお聞きしました。もし、道の駅大栄の移転を考えているのであれば、道の駅大栄にサウナや足湯程度のもので設置していただけないでしょうか。サウナは現在若者の間で爆発的な人気があり、いいものをつくると全国からサウナを求めて来ていただけるほど、サウナファンにはこだわりがあると思います。なので、町の活性化にもつながり、また、道の駅にサウナがあることで、サウナがある道の駅として北栄町がより印象的になると思います。足湯には外国人観光客をターゲットにすると刺さる方々がいると思います。外国には足湯がないため、北栄町で非日常的な体験をすることで、北栄町を覚えていただけたらと思います。道の駅大栄にサウナと足湯の設置を検討していただけないでしょうか。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） これまた面白いよい意見をいただきました。島根県のどこかの温泉の道の駅のところにも足湯がございます。そして兵庫県の養父だったかな、の道の駅のところにも足湯があって、長く運転された方がそこに足をつけてゆっくり休憩されている、そんな風景をよく見させていただきます。足湯、そしてサウナがあれば、また面白い道の駅の一つの売り物になってくると思います。これを町がしていくのか、あるいは民間の事業者にやっていただくのか、これからいろいろ検討が必要であると思います。ただ、先ほど議員が言われた、大栄の道の駅を移転するというようなことは、まだ正式にも決まっておりませんし、これからいろいろ考えていくことがありますので、今、議員が言われたことも一つの検討材料にさせていただいて、道の駅にたくさんの人がおいでいただけるような、そんな道の駅にしていきたいと思います。

○議長（橋本 佳樹君） 松原議員。

○議員（3 番 松原 匠汰君） これで質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 以上で、松原議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（橋本 佳樹君） 4 番、塩涼太郎議員。

○議員（４番 塩 涼太郎君） ４番、塩涼太郎です。町長、教育長に質問します。

名探偵コナンを使って郷土愛を育む取組についてお聞きします。

私たちの探究は、名探偵コナンをテーマとした企画の成果を御報告申し上げますとともに、その成果に基づいた今後の地域活性化施策について、町長と教育長に御提案いたします。

北栄町は、国民的漫画「名探偵コナン」の原作者である青山剛昌先生のふるさとです。これは北栄町の大きな誇りであり、最大の地域資源です。私たちはこの資源を最大限に生かし、次世代の子どもたちが自らの町に誇りを持てるような環境づくりを目指して活動してきました。10月3日、鳥取中央育英高校の生徒72名を対象に、名探偵コナンの世界観を取り入れた運動会競技「名探偵リレー」を実施しました。事後アンケートで、リレーに参加した72名中67名からアンケートを回収し集計した結果、コナンをテーマにした競技に参加して、名探偵コナンの町北栄町に対する関心や愛着が深まったかという質問に対して、「そう思う」または「非常にそう思う」に70%が該当しました。この結果は、他地区からも来ている高校生にとって名探偵コナンの町北栄町の高校に通っていることを自覚させ、郷土愛の意識形成に有効であることを示しています。この成果を、高校生の運動会に留めず町全体に広げることで、本町の魅力を再認識し、愛着を深めることができると思います。

提案１つ目です。高校生を対象にした名探偵コナン関連の企画から郷土愛の醸成効果が実証されたことから、今後は、町民全体を対象とした名探偵コナン関連イベントの継続的な実施と拡大が波及効果をもたらすと考えます。（この名探偵コナンを活用した郷土愛を育む取組を、町全体で推進していくことについて町長はどのようにお考えでしょうか。）

提案２つ目です。効果が実証された「名探偵リレー」という競技を、高校だけでなく地域の運動会や小・中学校の運動会の定番競技として普及することを提案します。幼少期から、名探偵コナンの町であることを遊びを通じて体験し、自然な形で郷土愛を育むことができます。地域住民が一体となって楽しめる北栄町ならではの新しい伝統行事となり得ます。この提案について教育長はどのようにお考えでしょうか。

提案３つ目です。中央公民館と中央公民館大栄分館に「名探偵リレー」を実施するためのセットを作っておけば、町民や学校に利用してもらいやすい環境がつくられると思いますが、スケートボードを町の費用で購入し、中央公民館にセットを置いていただけないか、町長にお伺いします。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 塩議員の、名探偵コナンを使って郷土愛を育む取組についての御質問ですが、私からは１つ目と３つ目の提案についてお答えします。

まずもって、青山先生の母校でも、作品の世界観を取り入れて運動会の競技を企画し、郷土愛を深めていただいたことに、深く感謝したいと思います。同時に、アンケートも実施したということで、これもすばらしいことだと思っております。

さて、初めの質問ですが、町全体でコナンを活用した取組について、これは既に幾つかの事例があります。毎年青山剛昌ふるさと館では、町民と町内通学・通勤者を対象とした入館無料デーを期間限定で開催しています。気軽に町民が入館されることで、郷土から育

った青山先生の人となり、名探偵コナンに代表される作品の魅力に触れることができ、町民の郷土愛を深める機会を設けています。来年春に開館予定の新ふるさと館でも、同様の取組を続けていきたいと考えています。このほかにも、毎年のかい・ながいも健康マラソン大会のTシャツにコナンのイラストを入れるなど、名探偵コナンに関連したイベントは以前から続いているところです。町では著作権元との契約に基づき、「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」を様々な場面で積極的にPRすることを続けていますので、議員御指摘のような町民の郷土愛が育まれると考えています。

3つ目の件についてです。中央公民館と大栄分館に「名探偵リレー」のセットを設置するという提案でした。学校の運動会で行われた競技の様子も拝見しました。スケボーやサッカーのドリブルなどの要素を取り入れた活動的な印象を受けました。ただ、地域の運動会では学校とは少し事情が異なります。就学前の幼児やあるいは高齢者といった幅広い年代の方にも楽しく参加してもらうためには、安全面などの工夫、検討が必要となります。中央公民館と大栄分館に「名探偵リレー」のセットを設置することについては、競技の内容、あるいは安全面、そして活動内容などを精査した上で判断していきたいと思います。

○議長（橋本 佳樹君） 笠見教育長。

○教育長（笠見 隆志君） 塩議員の御質問にお答えします。名探偵コナンを使って郷土愛を育む取組についての御質問です。

私からは、提案2の「名探偵リレー」を地域の運動会や小・中学校の運動会の定番協議として普及することについての御質問にお答えします。

小・中学校の運動会のプログラムについては、各学校で検討されているところです。

「名探偵リレー」を普及したいとの想いは大変よく理解できますので、ぜひ塩議員、または中央育英の生徒さん自ら小・中学校へ赴き、「名探偵リレー」への想い、効果などをプレゼンされてはいかかかと思います。その上で各学校が取り入れるかどうか判断されると思いますし、そうした盛り上がり新しい伝統行事を生み出すのではないかと考えています。

北栄町の小・中学校では、コミュニティスクールの活動や大栄地区での向ヶ丘レインボープラン等を通して、高校生に小・中学校の行事に参加していただいています。そうした直接的な関わりは意義深いことだと思いますし、高校生の協力に大変感謝しているところです。今回の提案が小・中学生と高校生の関係をより深めるものになれば、「名探偵リレー」のアイデアにとどまらず、その取組自体が郷土愛を育むものになるのではないかと期待するところです。

○議長（橋本 佳樹君） 塩議員。

○議員（4 番 塩 涼太郎君） 今、町長に答弁していただいた提案1について、町長に再質問させていただきます。

この名探偵コナンを活用した郷土愛を育む取組を町全体で推進していくことについて、町長はどのようにお考えでしょうか。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 先ほど少し無料デーの話をさせていただきました。ある程度の期間をもって、町内の方等々について入館無料ということがありました。入館料を無料にしても、なかなかその期間にそんなに思ったほどは実に入っておりません、600人くらい。

こういうことを考えると、まだまだこの青山ワールドの周知が少し足りないのかなと思っていますので、今、高校生がやっていただいた「名探偵リレー」等のように何か面白いイベント等いろいろ考えて周知をさせていただきたいと思います。

○議長（橋本 佳樹君） 塩議員。

○議員（4 番 塩 涼太郎君） 以上で質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 以上で、塩議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（橋本 佳樹君） 5 番、濱本月華議員。

○議員（5 番 濱本 月華君） 5 番、濱本月華です。私は、地域の売り物にならない農作物について、町長に質問します。

北栄町には、大栄西瓜、北条砂丘ブドウ、ナガイモねばりっこ、鳥取ラッキョウなど全国に誇れる魅力的な農作物があります。しかし、これらは主に生鮮品として販売されており、加工品などの売り物としてあまり多くなく、地域の特産品や魅力の発信につながりにくいと感じています。また、生鮮中心の販売ではシーズン以外に農産物をPRすることが難しいという弱点もあります。さらに、出荷基準に満たない規格外のスイカやナガイモは廃棄されてしまい、生産者の方にとって大きな負担になっていると聞いています。そこで、私たちは廃棄される規格外の農産物を活用し加工品などの商品を作ることで、フードロス削減と地域の魅力発信につなげられないかと考えています。

そこで、次の点について質問します。

1 つ目として、町ではフードロス削減の取組として、規格外の農産物を現在どのように活用しているかお伺いします。

2 つ目として、私たちは、高校生が規格外農産物を使った商品作りや試作、販売などに実際に関わりたいと考えています。町が農家の方と鳥取中央育英高等学校との間に入り、こうした取組をコーディネートできないでしょうか、お伺いします。

以上で、壇上での質問を終わります

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 濱本議員の、地域の売り物にならない農産物についての御質問にお答えします。

北栄町は鳥取県でもトップクラスの農業産地で、町の特産物は、春の鳥取ラッキョウにはじまり、夏の大栄西瓜、北条ブドウ、秋はナガイモ、砂丘ねばりっこ、抑制メロン、そして冬の葉物野菜、ストック、シンテッポウユリと、1 年を通して多くの農作物が栽培されています。季節ごとに出荷された農作物を多くの消費者の皆さんが食べて、観賞して喜ばれ、また、高い販売額で生産者がもうかるよう、生産組織・農協・鳥取県・町などが連携して販売PRに取り組んでいるところです。

北栄町にある 2 つの道の駅では、それらの農産物を直売所で販売されており、町外者からも高い人気と需要があるものと認識しています。特に、道の駅ほうじょうでは地元食材を活用した飲食メニューやオリジナル商品も開発されており、町の特産物が有効にPR、活用されている事例です。

その中で、フードロス削減のために規格外の農作物をどのように活用しているかとの質問です。これらの規格外の農作物は、各生産者が道の駅などの直売所やインターネット販売の活用、また、福祉施設に提供し有効に活用することでフードロス削減に取り組んでいます。このほか、フードドライブという取組を県内各市町が行っており、その中で提供いただいたもち米を子ども食堂などで利用しています。また、6次産業化に取り組む農林漁業者や事業者に対して、鳥取県と北栄町が協調して事業費の2分の1を支援する制度があり、規格外の農作物等を生かした商品開発についても対象とすることから、相談内容に応じて支援制度の活用を周知しているところです。

次に、町が農家と育英高校との間でコーディネートできないかということであります。高校の皆さんで有効なアイデアを検討していただき、具体的な規格外農産物の活用提案がありましたら、是非ともお知らせいただき、生産者をはじめとした関係者とコーディネートさせていただきたいと思います。

○議長（橋本 佳樹君） 濱本議員。

○議員（5番 濱本 月華君） 今、町長に答弁していただいた提案について、町長に再質問させていただきます。

答弁の中で、町として規格外農産物の活用や、高校生と農家の連携について前向きに検討していくとの考えを示していただきました。そこで、町が農家と高校の橋渡し役を担う場合、まずは意見交換会や試作体験など、小規模な取組から始めることができるのではないかと考えています。例えば規格外農産物を少量提供していただき、高校生が加工アイデアを考えたりイベントなどで試作的に販売することです。町として、こうした実勢的な取組をモデル事業として試してみる考えはあるのかお伺いします。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） またよい意見をいただいたところです。以前にも農家さん等と、6次化という言葉をお聞きしたいと思います。1次、2次、3次、6次化という言葉でお示しをしているところでございますけど、特に、加工して自分でも売っていくというようなところで、一貫して全ての作業をしていく、そういう中で、こういうものが新しく加工品としてできるんだと、規格外のものでもできるんだというようなことを以前もお話しさせていただいたことがございます。今、議員に提案いただいたことについても、いろんな場面で行えるとは思っていますので、しっかり検討させていただきたいと思います。

○議長（橋本 佳樹君） 濱本議員。

○議員（5番 濱本 月華君） 町長に、再々質問をさせていただきます。

高校生はSNSの活用や若者向けのデザイン、ネーミングなど、若い世代ならではの発想を持っています。町として、高校生のアイデアを地域商品づくりやPRに生かし、持続的な取組に発展させていく考えはありますか。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 高校生に負けじと大人も一生懸命頑張っているいろいろなところでこの発信について取り組んでいるところでございますので、ぜひ、またいろんな提案がございましたら、それはもう加味させていただいて、一緒になって提案をさせていただきたいなと思います。

○議長（橋本 佳樹君） 濱本議員。

○議員（5 番 瀨本 月華君） 以上で質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 以上で、瀨本議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（橋本 佳樹君） 6 番、長田光議員。

○議員（6 番 長田 光君） 6 番、長田光です。僕は、異年齢交流について、町長、教育長にお聞きします。

私たちは、和太鼓を通して地域に元気を届けるため、北栄みのりデイサービスの収穫祭で和太鼓を演奏しました。高齢者にとっては、若者世代と触れ合うことで心が明るくなり、和太鼓のような力強い演奏は懐かしさや感動を呼び、心身が活性化されたのではと考えます。また、私たちも、演奏を通じて人に喜んでもらう経験が自信につながり自己肯定感が高まります。

こうした地域のつながりを深める交流には、世代を超えた理解と協力が必要です。そこで、北栄町立小・中学校の発表会と敬老会を共同で開催することはできないか伺います。

以上で、壇上での質問を終わります

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 長田議員の異年齢交流についての御質問にお答えいたします。

高齢者にとって、若者世代との交流がよい効果をもたらすとの考えは、まったく同感であります。そして今、高校生という言葉が出ましたが、この前農業高校でも、160 周年の記念式典だったかな、高校生が和太鼓をやられていました。倉吉のほうでも、若い方が結構太鼓をたたいているという姿を、最近何かよく見る機会があります。本当に頼もしく思っているところであります。

現在、小学校の学習発表会、あるいは中学校の文化祭では、保護者だけでなく地域の人にも参加をいただいております。小学生や中学生の活動を見ることができます。一方で、今北栄町では敬老会を別々に地域で開催しています。敬老会を共同開催ということについては、今別々で実施しておりますので、自治会の理解を得ることや学校の準備期間に参加いただくなど、双方に理解を得ることが難しいように思います。また、自治会によってはお住まいの園児や小学生（こども会）が出し物をするなど、既に交流をしているところもあります。

町としては、高校生の皆さんが実演された和太鼓を、ほくえい公民館まつりの芸能発表や自治会の敬老会で演奏していただき、鳥取中央育英高校の活動を地域に広げられることも世代間交流に重要だと考えています。

○議長（橋本 佳樹君） 笠見教育長。

○教育長（笠見 隆志君） 長田議員の御質問にお答えします。異年齢世代間交流についての御質問です。

長田議員が高齢者との異年齢交流を体験され、異年齢交流の良さ、大切さを実感され、本日御質問をいただいたこと、この場で議論できることを大変うれしく思います。

北栄町のこども園、小・中学校では、こども園、小・中学校間だけではなく、鳥取中央育英高校の皆さん、地域の方々、高齢者施設等の皆さんと様々な場面で異年齢交流を行っ

ているところです。長田議員が感じられたように、異年齢との交流を通して様々な体験をし、北栄町の子どもたちの心が育まれていると考えているところです。

さて、御提案の北栄町立小・中学校の発表会と敬老会を共同で開催できないか伺うことです。小学校では学習発表会、中学校では文化祭が該当するかと思いますが、学習発表会、文化祭とも限られた時間の中で実施していますので、敬老会との共同開催は困難かと思いますが、しかしながら、小・中学生の発表する場を地域の高齢者の方々に見ていただくのはよいことだと考えています。

また、子どもたちが地域の運動会や行事に積極的に参加し、地域で異年齢交流することが自然ではないかと思い、促したいと思っております。以上です。

○議長（橋本 佳樹君） 長田議員。

○議員（6 番 長田 光君） 町長にお伺いします。

これから、若者と高齢者が交流できるイベントなどは、いつ、どのタイミングで、どのようなことをして交流するのか、お伺いします。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 現在、公民館活動の一環として、シニア教室とかそういうのがあって、その中でも例えば高校生が一緒に入ってきたりしてパソコンなど高齢者に対して一緒になって取り組んでいる、そういう事例もあります。そういう公民館活動等が、私は、今議員が言われた提案については、一番いいのかなと思っておるところであります。

○議長（橋本 佳樹君） 長田議員。

○議員（6 番 長田 光君） 以上で質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 以上で、長田議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（橋本 佳樹君） 7 番、伊藤魁仁議員。

○議員（7 番 伊藤 魁仁君） 7 番、伊藤魁仁です。多文化共生社会における防災対策の強化と ICT を活用した避難行動支援について、町長にお聞きします。

近年、気候変動に伴う異常気象の頻発化・激甚化が高まる中、住民及び来訪者を含む全ての人々の命を守るため、災害時の避難行動をより円滑に進めるための対策は喫緊の課題となっています。本質問では、増加する外国人観光客等への対応と地域に普及している情報通信技術（ICT）の利活用という2つの観点から、北栄町の防災体制のさらなる強化について、以下の2点について町長の御所見を伺います。

1 点目は、防災ピクトグラムを活用した案内表示の整備についてです。私たちは青山剛昌ふるさと館でのフィールドワークを通じて、北栄町には韓国、中国、台湾などから多くの観光客が訪れている現状を知りました。しかし、避難所の位置を示す掲示物の多くは英語表記のみで、多言語への対応が不十分であると感じました。災害発生時には誰もが迅速かつ安全に避難できるようにすることが不可欠です。そのため、外国人観光客を含む全ての方に分かりやすい防災ピクトグラムと、韓国語、中国語などの多言語表記を併記した標識の設置が必要ではないかと考えます。町として、このような多言語対応の防災案内表示の整備について、どのようにお考えでしょうか。

お手元の資料の 11 ページを御覧ください。これが、僕たちが作成した案内標識例です。

2 点目は、LINE 等の ICT を活用した避難訓練および情報伝達システムの導入についてです。北栄町中央公民館主催の「スマホデビュー応援講座高校生が教えます！よろず相談所」においては、高齢者からの質問の多くが LINE に関するものであり、町内における LINE の普及率は比較的高いと感じています。また、私たちが探究活動で体験した避難所設営ゲームでは、避難者の情報を正確かつ迅速に把握することの重要性を実感しました。こうした経験を踏まえ、LINE を活用した避難所受付や情報発信を想定した避難訓練の実施が有効ではないかと考えます。町として、このような ICT を活用した避難体制の整備について、どのようにお考えでしょうか。

以上、2 点について町長の見解をお伺いします。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 伊藤議員の、多文化共生社会における防災対策の強化と ICT を活用した避難行動支援についての御質問にお答えします。

まず、防災ピクトグラムを活用した案内表示の整備についてであります。災害時には、国籍を問わず全ての方が安全に避難できるよう、分かりやすい情報を提供することが何より重要であると認識しています。今回の御提案は、外国人の立場に立って考えられた非常に大切な視点であると受け止めています。

現在、町が整備している避難所等への案内表示には、文字を読まなくても一目で意味が伝わる視覚記号であり、言語に関係なく誰もが避難方向や施設の種類を直感的に理解できるという大きな利点のある防災ピクトグラムを用いています。さらに、これらのピクトグラムに加えて国際的に広く通用する英語を併記することで、多くの外国人の方にとっても分かりやすい表示となっています。そのため、現状のピクトグラムと英語表記の組合せは、外国人観光客を含む様々な方々にとって、一定の分かりやすさを確保できていると考えています。こうした理由から、現時点では、既存の英語表記を基本としつつ、視認性の高いピクトグラムを活用した案内表示を継続していきたいと考えています。

次に、ICT を活用した避難体制の整備についてですが、まず、災害が起きたときに皆さんの命を守るためには、正しい情報を早く確実に届けることが大切です。ICT を活用した情報伝達について御提案いただいたことは、まさにこれからの防災に欠かせない視点であると考えています。そのため本町では、町内全ての御家庭に防災行政無線の受信機を整備し、緊急時には避難情報などを放送しています。あわせて、令和 7 年度からは、この防災行政無線の情報をスマートフォンでも確認できる情報配信アプリを導入しました。現在は 1,500 人以上の方に登録していただいております。放送を聞き逃してしまってもスマホで内容を確認できるようになりました。以前、LINE についても検討しましたが、防災行政無線と直接つながり仕組みがないため、災害時に確実に情報を届けるという点では難しい面があります。こうした理由から専用のアプリを導入したところであり、これを御理解いただけたらと思います。

昨年 9 月に行った町の防災訓練では、防災行政無線とアプリを連携させて訓練のお知らせを配信したほか、緊急時に画面表示で危険を分かりやすく知らせる緊急モードの試験

も行いました。こうした訓練を重ねることで、災害時の情報伝達の精度を高めていきたいと考えています。

また、避難所での受付については、現在、県内全ての市町村で「被災者支援システム」という仕組みの導入を進めています。これは、マイナンバーカードを使って避難された方の情報をすばやく把握できるようにするもので、避難者名簿の作成や支援物資の受け渡しをよりスムーズに行えるようになる予定です。

本日いただいた提案や問題意識を大切にしながら、これからもＩＣＴを活用し災害時に皆さん一人一人の命を守るため、防災体制の強化に取り組んでいきます。

○議長（橋本 佳樹君） 伊藤議員。

○議員（7 番 伊藤 魁仁君） 答弁していただいた、防災ピクトグラムを活用した案内表示の整備について、再質問させていただきます。

新しくなる青山剛昌ふるさと館や公民館（大栄分館）に、住民の皆さんの防災意識を高めるためや観光客に避難場所を知ってもらうために、防災ピクトグラムを活用した避難表示の設置が必要ではないかと考えます。以上について、町長の見解をお伺いします。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 新しくする施設についても、同様なこの防災ピクトグラムについて、設置をするようにしております。

○議長（橋本 佳樹君） 伊藤議員。

○議員（7 番 伊藤 魁仁君） 以上で質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 以上で、伊藤議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（橋本 佳樹君） 8 番、西村李世議員。

○議員（8 番 西村 李世君） 8 番、西村李世です。私は、中央公民館大栄分館のリニューアルについて、町長にお聞きします。

公民館という場所は、若者にとって堅く古くさいというイメージがあり、利用者も高齢者が多いという傾向があります。そのため、若い世代には入りにくい場となっています。

そこで、中央公民館大栄分館のリニューアルについて伺います。

1 つ目、利用者の年齢層の偏りや利用者数の減少が課題となっています。幅広い世代の利用や、利用者数を増加させるために、どのような対策を取るのでしょうか。

2 つ目、より多くの人が親しみを持てるように「まちの居場所」や「交流ステーション」などといった新しい名称にしてみてもはどうでしょうか。

3 つ目、近年 SNS での情報拡散が主流となっています。そこで、公民館独自の SNS アカウントを作成し、イベントや日々の活動の情報発信を進めてみてはどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 西村議員の中央公民館大栄分館のリニューアルについての御質問にお答えします。

まず、利用者の年齢層の偏りや利用者数の減少への対策ということであります。現在、

中央公民館大栄分館では、高齢者の利用が中心となり若い世代の利用が少ないという課題を認識しています。今回のリニューアルに当たっては、今年度実施しましたほくえい未来ラボでの意見も参考にしながら、若者を含めた幅広い世代の声を取り入れた施設づくりを進めていきます。具体的には、若い世代が利用しやすい空間づくりや、交流イベント、体験型の企画などを検討し、学校や自治会とも連携しながら利用者層の拡大を図っていきたいと考えています。

次に、新しい名称への変更についてです。確かに「公民館」という名称が、堅く入りにくい印象を持たれているという御意見は重要な視点だと考えています。親しみやすい名称にすることで、利用者の心理的なハードルが下がる効果も期待できます。今後は、町民アンケートなどを通じて意見を伺いながら、愛着を持ってもらえる名称や呼び方について検討していきたいと考えています。

最後に、SNSを活用した情報発信についてであります。SNSを活用した情報発信については、その重要性を十分に認識しています。現在運用している北栄町公式のSNSを活用して情報発信を行うことが、継続性や情報の信頼性の面からも有効であると考えています。今後は、町の公式SNSを通じて公民館のイベントや日々の活動の様子を積極的に発信し、若い世代にも公民館を身近に感じてもらえるよう取り組んでいきたいと考えています。

○議長（橋本 佳樹君） 西村議員。

○議員（8番 西村 李世君） 今答弁していただいた②（2つ目）の質問について、再質問させていただきます。

新しい名称を考えるとともに、「大栄まちづくり館」「集まれ大栄のよりどころ」などといった通称としての名前も考えてみてはいかがでしょうか。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） そういう通称も考えることによって、広く親しんでいただけるようになると思います。いろいろ名称等については、何かアンケートだったり、あるいは運営委員会とかいろいろなことをつくりながら、広く親しんでいただける、何とか中央公民館というのではなくて、今、何か議員が言われたのをちょっとよう思い出しますが、そういうのも必要ではないのかなと思っているところであります。

○議長（橋本 佳樹君） 西村議員。

○議員（8番 西村 李世君） 以上で質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 以上で、西村議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（橋本 佳樹君） 9番、越野陽仁議員。

○議員（9番 越野 陽仁君） 9番、越野陽仁です。私は、公民館に設置するリラックス器具やWi-Fi整備に関する予算について、町長に質問します。

昨今、地域住民の憩いの場として公民館の役割がますます重要になっていると感じています。そこで利用者の方がより快適に過ごせるよう、リラックス器具の設置やWi-Fi環境の整備をするための予算などについて伺います。

1つ目、公民館にリラックス器具を設置する計画はあるか。ある場合は、その設置にかかる予算や時期についてどのように考えているか。

2つ目、公民館内のWi-Fi設備について、現在の状況と今後の整備計画はあるか。

3つ目、現在のWi-Fi導入に伴うセキュリティー対策について、利用者の個人情報保護や不正アクセス防止のために行われている対策はあるか、です。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 越野議員の、公民館に設置するリラックス器具の設置やWi-Fi環境の整備に関する予算についての御質問にお答えします。

まず、リラックス器具の設置についてですが、リニューアルします中央公民館大栄分館には、御提案いただいたビーズソファやマッサージチェアの設置は検討していませんが、住民の憩いの場、リラックスしていただける公民館として、親しみある椅子やソファなどは必要だと考えています。これら備品については、令和8年度の当初予算で計上いたします。

次に、Wi-Fi設備の現在の状況と今後の整備計画ということではありますが、現在、中央公民館と中央公民館大栄分館にはそれぞれWi-Fi設備があり、新たな大栄分館にも利用者が快適にWi-Fiが使用できるよう予算を確保していきたいと考えています。

次に、Wi-Fi導入に伴うセキュリティー対策についてです。現在のセキュリティー対策としては、館内でWi-Fi接続をする際に利用者がメールアドレスを登録し認証して初めて使えるメールアドレス認証方式を採用しています。今後は通信の暗号化、フィルタリング機能の導入、利用規約の明示など、利便性と安全性の両立を図りながら、誰もが安心して利用できる公民館として段階的に環境整備を進めていきます。

○議長（橋本 佳樹君） 越野議員。

○議員（9番 越野 陽仁君） 答弁していただいたことについて、再質問させていただきます。

リラックス器具以外にも、パンやお菓子などの軽食の自販機、カフェや喫茶店などの設置について、計画はありますか。また、計画する場合は、その設置に係る予算や時期について、どのように考えていますか。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 具体の、その食べる場所については計画がないところでありますが、自販機については、どういう自販機ができるかどうか、検討させていただきたいと思います。詳細について、担当課長に答弁させます。

○議長（橋本 佳樹君） 渡辺課長。

○生涯学習課長（渡辺 健二君） 町長に代わりまして、答弁させていただきます。

先ほども町長からありましたけれども、自販機につきまして、町民の皆さんに使っていただける、来ていただいた方にとっていい空間になるような、そういった自販機を設置していきたいと考えています。

○議長（橋本 佳樹君） 越野議員。

○議員（9番 越野 陽仁君） 以上で質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 以上で、越野議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（橋本 佳樹君） 暫時休憩します。（午前 10 時 38 分休憩）

.....

○議長（橋本 佳樹君） 休憩前に引き続き再開します。（午前 10 時 44 分再開）

10 番、野廣優妃議員。

○議員（10 番 野廣 優妃君） 10 番、野廣優妃です。私は、女子寮の開所に対する北栄町の支援について、町長にお聞きします。

このたび、北栄町が本校の魅力化のために女子寮を整備してくださったことに、心から感謝申し上げます。遠方から鳥取中央育英高校へ入学を希望している女子生徒にとって、女子寮の整備は朗報です。女子寮の整備は、単に住居環境の改善だけでなく、北栄町の未来を担う人材育成と地域活性化につながる大きなプロジェクトだと感じています。つきましては、このプロジェクトを真に生かし、寮生が安全で快適に生活を始めるために「安全の土台」に関する課題について町長にお伺いします。

1 つ目に、女子高生が六尾北団地で生活を始めるに当たり、鳥取中央育英高校裏門から女子寮が造られる六尾北団地までの通学路を考えました。この道は街灯が少なく、特に日が落ちるのが早い秋から春にかけて、部活からの帰り道が真っ暗闇になる場所があります。周囲の状況を確認することが難しく、痴漢や不審者、交通事故や用水路への転落など、不安が多い環境です。町が整備してくださった女子寮から学校へ安全かつ安心して通学するため、街灯または高照度の防犯灯の追加の設置をお考えいただけないでしょうか。近隣には鳥取短期大学のシェアハウスもあると聞いております。街灯が灯ることで、通学路だけでなく周辺地域の防犯効果も高まると考えますが、いかがでしょうか。

2 つ目です。女子寮ができ、鳥取中央育英高校の生徒という「新しい力」が生まれることで、地域へボランティア参加をするなど地域に良い効果や影響をもたらします。このプロジェクトの最終的な期待は、寮生が町の未来の担い手として定着することだと考えます。それは、生徒が卒業後に「また北栄町に帰ってきたい」と感じるかどうかにかかっていますし、寮生の第 2 の故郷としての位置づけが必要と考えます。学校や寮以外の安心できる第 3 の居場所を地域内に持つことで、生徒はより深く地域に根付き、家庭的な温かさを感じることができると思います。そこで、例えば「ふるさとホーム制度」を作ってはいかがでしょうか。この制度は、北栄町内で生徒の受入れに協力してくださる家庭を公募、登録してもらいます。例えば、子育てを終えた世帯や生徒の親世代の夫婦など。女子寮の生徒が登録家庭に定期的に訪問したり、その交流家庭の地域行事に参加したり、病気になったときの看病をしてもらいます。生徒は親元を離れた寂しさを和らげ、家族のような個人的な支援者を得ることができます。また、交流家庭は生徒という若い世代との交流を通じて生活に活力を得られ、地域全体で生徒を育む意識が高まります。この提案を町長はどのように思われますか。

また、町からの継続的な御助力をいただけたらと考えますが、いかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 野廣議員の、女子寮の開所に対する北栄町の支援についての御質問にお答えします。

初めに、女子寮から学校までの防犯灯の追加設置ということであります。御指摘のとおり、女子寮から学校までの通学路において、特に日没が早くなる時期には下校時に周囲が暗くなる箇所があり、安全面・防犯面の両面から対策が必要であると認識しています。町としましては、通学路の安全確保のため、防犯灯の追加設置について進めていきたいと思っています。

次に、「ふるさとホーム制度」についてです。大変興味深い提案をいただきました。生徒の皆さんが、「北栄町に来てよかった」卒業後も「また北栄町に帰ってきたい」と感じられる環境づくりは、町の将来にとってとても重要なことだと考えています。一方で、受入れの仕組みなど、すぐに制度化することは難しい面があります。既に御存知かと思いますが、類似の制度として、島根県の隠岐島前高校「島親制度」というものがあります。こういうのも少し参考にさせていただきながら、検討を進めていく必要があるかなと思っています。

何よりも、まずは女子寮に入寮していただける生徒の確保が最優先です。提案していただいた内容を含め、引き続き学校や地域と連携しながら、生徒の確保につながるような高校魅力化事業に取り組んでいきますので、生徒の皆さんも、ぜひ積極的に参加していただければと思います。

○議長（橋本 佳樹君） 野廣議員。

○議員（10 番 野廣 優妃君） 答弁していただいたことに、再質問させていただきます。防犯灯の設置を考えているとのことですが、具体的にどの地点で設置するのが可能ですか。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 3 か所程度ということであります。詳細について担当課長に答弁させます。

○議長（橋本 佳樹君） 小澤総務課長。

○総務課長（小澤 靖君） 町長の答弁に補足して説明させていただきます。

場所としましては、野球場近くの道があると思いますが、その道に3 か所設置を考えております。予算につきましては、来年度の当初予算で計上しておりますので、来年度、4 月以降、設置に取り組みたいと考えております。

○議長（橋本 佳樹君） 野廣議員。

○議員（10 番 野廣 優妃君） 以上で質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 以上で、野廣議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（橋本 佳樹君） 11 番、日原快議員。

○議員（11 番 日原 快君） 11 番、日原快です。小・中学生を対象とした体験的学習活動等休養日を活用した取組について、町長、教育長にお聞きします。

小・中・高生を対象として、青山剛昌ふるさと館やコナン通りにもっとたくさん来ていただくために、体験的学習活動等休業日の前に北栄町や中部地区の小・中・高校にポスターやチラシを配布することについて伺います。

1つ目、この活動をするに対する北栄町の考えは。

2つ目、発信する方法として北栄町から各市町村に呼びかけることはできるか。

3つ目、体験的学習活動等休業日が県内の学校ごとにはあるが、北栄町にはないので体験的学習活動等休業日を北栄町に導入することについての考えは、です。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 日原議員の、小・中学生を対象とした体験的学習活動等休業日を活用した取組についてという質問にお答えします。休業日を休業日と今後はお話をさせていただきたいと思います。

私からは、1つ目と2つ目の提案について、答弁をさせていただきます。町内や中部地区の子どもたちが、この休業日を活用して地元の観光スポットとして有名な青山剛昌ふるさと館、コナン通りを実際に訪れ、国内はもとより世界中からたくさんのファンや観光客を集める青山作品の魅力に触れるよい機会であり、休業日を前に事前告知することは問題がないと思います。各校にポスターを掲示し、チラシを配布することについても、既存のポスター、チラシの部数があれば可能です。各市町の協力が得られれば、町から呼びかけてお願いすることもできます。ただし、この休業日を活用する前提での来館、来訪を勧めるポスターやチラシを個別に作ることは、費用がかさむこともありますので、現在は考えていません。既存のポスター、チラシに加えて、公式ホームページやSNSなどデジタルの媒体も積極的に絡めて、多角的に情報発信を進め、多くの地元小・中・高生を呼び込みたいと考えています。

○議長（橋本 佳樹君） 笠見教育長。

○教育長（笠見 隆志君） 日原議員の御質問にお答えします。私からは、3番目の体験的学習活動等休業日が県内の学校ごとにあるけれど、北栄町にはないので体験的学習活動等休業日を北栄町に導入することについての御質問にお答えします。

体験的学習活動等休業日とは、家庭及び地域における体験的な学習活動を充実させるために、学校が定める独自の休業日のことです。県内では、2市2町が実施しています。私としては、現在のところ導入は考えておりません。理由としましては、実施している市町の状況を見ていまして、趣旨に沿った休業日となっているのか疑問を感じており、導入効果がはっきり見て取れないこと、地域での体験的学習を準備するための新たな業務が発生していることが上げられます。

このことについては、令和7年6月に開催された手嶋町長と北栄町教育員会委員との協議の場である総合教育会議でも議論したところですが、仕事を休めない保護者が多い、まずは現在実施している地域行事やイベントに参加してほしいといった御意見があり、導入に積極的な意見がなかったところです。以上です。

○議長（橋本 佳樹君） 日原議員。

○議員（11番 日原 快君） 答弁いただいた質問について、再質問します。

体験的学習活動等休業日の導入の狙いで、保護者の有給休暇の取得促進とありますが、

このことについてどのように捉えていますか。

○議長（橋本 佳樹君） 笠見教育長。

○教育長（笠見 隆志君） お答えします。実際に導入されている市町のアンケートの結果等を見せていただきました。現在のところ、半数以上がそういった学校の休暇に合わせて仕事を休めていないというような結果だったかと思っております。鶏か卵かどっちが先かというようなところもございすけども、なかなか、学校のほうが休みにしましても仕事が進められない状況が続いている限り、そちらのほうを進めたいと思っても実際に休んだ子どもたちがどういうふうに進められるのかというところの心配が多いので、現在のところは様子を見ているというような状況でございす。

○議長（橋本 佳樹君） 日原議員。

○議員（11 番 日原 快君） 以上で質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 以上で、日原議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（橋本 佳樹君） 12 番、福光蒼里議員。

○議員（12 番 福光 蒼里君） 12 番、福光蒼里です。町長に、男女平等な社会の実現について質問します。

私たちは、少子化に対する対策として婚活イベントを開催しました。それらを通じ感じたこと、またその後の探究活動の中で、男女の結婚観の差について感じました。今、北栄町に存在する差を埋めるための町の姿勢を伺います。

まず初めに、男女の役割について、北栄町で意識調査などをされたことはありますか。

次に、北栄町役場では平成 28 年に「イクボス宣言」、令和 3 年に「イクボス・ファミボス宣言」をされているとのことですが、町役場の男性の育児休業取得率はどれくらいですか。また、それらを取得しやすい具体的な施策はありますか。例えば、人的保障や代わりに仕事をされる方への金銭面での補償などです。

これらの活動を北栄町の事業所に広げていくような施策はありますか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 福光議員の、男女平等な社会の実現についての御質問にお答えします。

初めに、男女の役割についての意識調査ですが、本町では、令和 3 年度に男女共同参画意識調査を実施しました。この調査では、家庭生活や職場などでの男女の地位や、男女が平等な立場で協力するために大切だと思うことなどについて聞いています。

次に、役場における男性職員の育児休業取得率と、取得しやすい環境づくりについてですが、本町では「イクボス宣言」及び「イクボス・ファミボス宣言」の趣旨に基づき、男性の育児休業取得を推進しています。男性職員の育児休業取得率は、令和 4 年が 33%、令和 5 年が 67%、令和 6 年が 0%となっています。現在進行中の令和 7 年度では、100%が取得しています。

育児休業を取得しやすい環境づくりとして、制度の周知と個別説明の徹底、そして取得

しやすい職場の雰囲気づくり、また円滑な職場復帰支援、そして代替職員の確保、勤務時間の柔軟化などに取り組んでいます。

次に、事業所への取組の広がりについては、鳥取県が「とっとりイクボス・ファミボス宣言」や男性の育児休業取得を応援する企業への支援、働き方改革に取り組む事業所への助成などを行っています。町としては、こうした県の制度を事業所へ紹介し、活用してもらえるよう取り組んでおり、現在町内 22 の事業所が「イクボス・ファミボス宣言企業」として登録されています。引き続き取組の後押しをして、男女が共に働きやすい環境づくりを進めていきたいと考えています。

○議長（橋本 佳樹君） 福光議員。

○議員（12 番 福光 蒼里君） 今町長からいただいた答弁に、再質問します。

現在、「イクボス・ファミボス宣言」などをしておられると聞きましたが、宣言後と前で大きく何か変わったことはありますか。また、効果を感じられていますか。

○議長（橋本 佳樹君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 直接取った方に聞いてはおりません。労働安全衛生委員会等がありますので、そういうところで取得についての効果等について、あるかもしれません。その内容について、具体的には担当課長に答弁させます。

○議長（橋本 佳樹君） 小澤総務課長。

○総務課長（小澤 靖君） 答弁いたします。「イクボス・ファミボス宣言」というのは、役場の特別職とそれから管理職、各課長が宣言しております。直接職員に、そういった効果というのは聞いてないですけど、実際、先ほど町長が答弁でも申しましたように、育児休業、もし職員から申請があった場合は快く休暇してもらうということで、今年度 3 人が申請し取られています、男性職員で。それから今後も 1 人予定がありますので、やっぱり現に、職員が取りやすい環境になっているのかなとは感じているところであります。

○議長（橋本 佳樹君） 福光議員。

○議員（12 番 福光 蒼里君） 以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（橋本 佳樹君） 以上で、福光議員の一般質問を終わります。

○議長（橋本 佳樹君） 以上をもって、本日の日程は全て終了しました。

これにて、令和 7 年度北栄町高校生議会を閉会します。

午前 11 時 08 分閉会

高校生議長あいさつ

○議長（橋本 佳樹君） 本日、北栄町高校生議会を無事終わることができ、北栄町議会議員の皆様、北栄町役場の皆様に感謝申し上げます。高校生である私たちが、立場を超えて議論を行ったこの経験はとても貴重なものだったと思います。

最後になりますが、この議場で交わされたうちの一つでも多くの意見が、北栄町の発展に寄与することを願っています。議長を務めさせていただきありがとうございました。

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

高校生議会議長

署名議員

署名議員